

令和5年5月23日

「日本中世の技術水準に則った稲作の実験」に伴う田植祭・播種の実施

香川大学教育学部守田逸人ゼミ〈日本中世史〉では、農学部附属農場（諸隈正裕教授〈作物栽培学〉）と連携し、2023年度から学生の**卒業論文制作活動**の一環として、日本中世の技術水準に則った稲作（水稲・陸稲）の実験活動をはじめました。

種子は、9世紀の木簡史料（山形県上高田遺跡出土）に現れる品種「あぜこし」をはじめ、**中世以前の史料に出現する品種3種**を用い、農作業は日本農業技術史研究の成果に学びながら、田起こしから収穫に至る全ての行程において動力機を使用せず、化学肥料・農薬も使用しない環境下で稲作を行います。一連の行程で、必要となる労働力・肥料等の実際と土壌環境の科学分析を行い、前近代の農業形態を見直すとともに、持続可能な社会について考えていきます。

今回は、**水田への田植え、陸田への種まき**を行います。水田への田植えは、近年まで讃岐地域に遺された田植え唄とともに、**早乙女**が行います！！

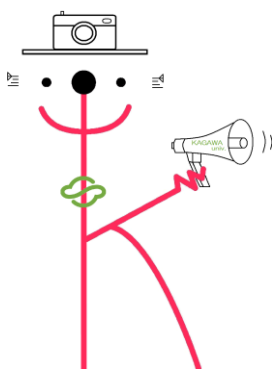
つきましては、是非取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日時：令和5(2023)年5月29日（月）13：30～15：00

場所：香川大学農学部附属農場（香川県さぬき市昭和300-2）

内容：早乙女による水田への田植え、および陸田への種まき

実施：香川大学教育学部学校教育教員養成課程 社会領域学部生



➤ お問い合わせ先
香川大学教育学部教授 守田 逸人
TEL：087-832-1436
E-mail: morita.hayato@kagawa-u.ac.jp

➤ ※上記不在の場合
香川大学幸町地区統合事務センター事務課
（北キャンパス担当） TEL：087-832-1405